

株主のみなさまへ

# 第90期中間のご報告

2013年(平成25年)4月1日～2013年(平成25年)9月30日



## Contents

|             |    |
|-------------|----|
| 株主のみなさまへ    | 1  |
| 特集          | 3  |
| 事業別概況・地域別概況 | 5  |
| 連結財務諸表(要旨)  | 7  |
| TOPICS      | 9  |
| 会社概要／株式情報   | 10 |



太平洋工業株式会社

証券コード：7250



## ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第90期中間期（第2四半期連結累計期間：2013年4月1日～2013年9月30日）における営業の概況についてご報告申し上げます。

2013年11月

代表取締役社長

小川 信也

## 当中間期の概況

当第2四半期連結累計期間(2013年4月1日～2013年9月30日)におけるわが国経済は、緩やかな世界経済の回復と大規模な金融緩和策・経済対策などによる円高是正、株高を背景に、企業業績の回復や個人消費の改善が進むとともに、企業の設備投資が持ち直すなど、景気は回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速や、円安による諸資材価格・エネルギーコスト上昇などが懸念され、先行きの見通しに対する不安も残っております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界は、主要顧客の自動車生産台数が、緩やかな回復傾向の続く米国では前年同期を上回り、日本および中国では前年同期を若干下回る状況で推移しました。

## 中間期の業績

連結売上高 443 億円  
(前年同期比 4.0%増)

連結経常利益 35.4 億円  
(前年同期比 20.4%増) 過去最高

連結四半期純利益 22.6 億円  
(前年同期比 77.7%増) 過去最高

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、443億25百万円(前年同期比4.0%増)と2期連続の増収となりました。利益面では、原価改善や円安効果が寄与し、営業利益は28億27百万円(前年同期比10.9%増)、経常利益は過去最高の35億42百万円(前年同期比20.4%増)となりました。また、四半期純利益につきましては、前年に計上したような特別損失(持分変動損失6億63百万円)がないことから過去最高の22億69百万円(前年同期比77.7%増)と大幅に増加いたしました。

尚、当期の中間配当金につきましては、当期の業績を勘案し、前年同期より2円増配の1株あたり7円とさせていただきます。期末配当金につきましても、1株につき7円(前年同期比1円増配)、年間では14円(前年比3円増配)を予定しております。

## 今後の見通し

当下半期の自動車関連業界は、国内は2014年4月からの消費税増税を前に、いわゆる駆け込み需要が見込まれ、売

## 通期業績予想

連結売上高 900 億円

連結経常利益 64.0 億円

連結当期純利益 39.0 億円

上は堅調に推移するものと思われます。しかし、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化、円安に伴う原料価格・エネルギーコスト上昇、来年度以降は消費税増税による個人消費の落ち込みが懸念され、自動車産業を取り巻く環境は依然厳しい状況が予測されます。

こうした状況の下、当社グループは、生き残りをかけて中期経営計画「OCEAN-15」を推進しています。「守りから攻め」の経営に転換し、国内では中部・九州・東北の三極体制の強化、海外では各生産拠点の整備・拡充、現地化、多客化を加速し、グループの総合力強化に取り組んでいます。

詳細は▶ 3～4ページの特集参照

今後も収益向上をめざすとともに、刻々と変化する状況を総合的な視点で判断し、様々な課題に対してスピード感を持って対応してまいります。株主のみなさまには引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



# 守りから攻めへ ～グローバル経営のシンカをめざす～

太平洋工業グループは、ますます激化するグローバル競争に勝ち残るため、長期ビジョン「PACIFIC GLOBAL VISION 2020」の具体的アクションプランとして中期経営計画「OCEAN-15」を推進しています。

「守りから攻め」の経営に転換し、更なるものづくり力の強化と海外展開を加速しています。

## 設立1周年グランド オープニングパーティを開催

2013年7月、ベルギーのPacific Industries Europe NV/SA (PIE社) の設立1周年を記念し、グランドオープニングパーティを開催しました。PIE社は、TPMS送信機の販売拠点として、

欧州市場でのシェア拡大に取り組んでいます。



グランドオープニングパーティの様子

欧州

韓国

中国

タイ

## タイにおける樹脂事業と バルブ事業の拡充

2013年6月、Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd.の第2工場が完成しました。新たにホイールキャップ等の樹脂製品の生産を開始し、2014年1月より日系自動車メーカー各社に納入する予定となっています。また、バルブ製品の生産を増強し、タイヤバルブの第2生産拠点として、グローバル生産体制の拡充を図っています。



第2工場の外観

## 中国市場における 競争力強化と多客化推進

今後も市場拡大が予想される中国では、現地化や多客化を推進し、グローバル生産体制の強化を図っています。2011年11月に設立し、自動車用ボデー部品を生産する長沙太平洋半谷汽車部件有限公司では、自社工場建設を開始し、2014年7月完成を予定しています。



## アルミダイカスト事業の拡充

太平洋工業グループ初のアルミダイカスト事業を行う太平洋エアコントロール工業株式会社は、2013年10月に第4工場が完成しました。これにより、2015年までに年間1,200万個の生産体制確立をめざしています。

また、新たにパワーステアリング用のダイカスト製品の生産・販売も開始し、アルミダイカスト事業の拡充を図っています。



アルミダイカスト製品

日本



長沙太平洋半谷汽車部件有限公司の完成予想図

米国

## 米国でTPMS送信機の生産本格化

2012年6月からPacific Manufacturing Ohio, Inc.においてTPMS送信機の一部現地生産を行っていましたが、このたび年間約300万個の生産体制を確立し、米国での一貫生産を開始しました。2013年7月には関係者列席のもと、ラインオフセレモニーを開催しました。



ラインオフした  
TPMS送信機生産ライン



TPMS送信機

## プレス・樹脂事業の国内三極体制強化

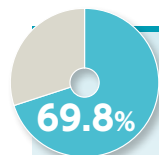
日本では、東大垣工場、九州工場に新たに大型プレス機を導入し、超高張力鋼板（超ハイテン）による自動車用ボデー部品の生産を強化いたします。超ハイテンは、車両の軽量化に貢献する素材として注目されており、国内三極体制でプレス事業の拡充をめざしています。

また、東北地区では、栗原工場でプレスから溶接、表面処理までの一貫生産工場を増築し、2014年11月稼動を予定しています。



センターボデーピラー

# 事業別概況・地域別概況

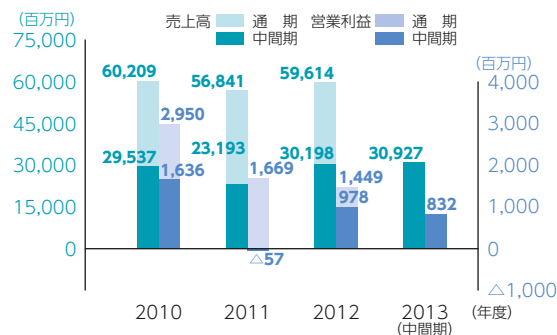


## プレス・樹脂製品事業

売上高 **309億円** 営業利益 **8億円**

主要顧客の自動車生産台数は、エコカー補助金が終了した日本や、日本製品不買運動の影響から回復途上にある中国では前年同期を下回りましたが、米国においては景気回復に伴い前年同期を上回り、当事業全体の売上高は、309億27百万円(前年同期比2.4%増)となりました。利益面では、中国での事業立上げに伴う費用負担などにより、営業利益は8億32百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

### 売上高・営業利益



#### プレス製品



フードロックフック



ハイブリッド  
バッテリーケース



ラゲージヒンジ



オイルパン



キャリアプレート

#### 樹脂製品



エンジンカバー



ホイールキャップ



## バルブ製品事業

売上高 **132億円** 営業利益 **19億円**

タイヤバルブ・バルブコア製品およびバルブ関連製品の販売が順調に推移し、韓国でのコンプレッサー関連製品の販売が大きく伸びたことから、当事業全体の売上高は前年同期を上回り、132億18百万円(前年同期比8.2%増)となりました。利益面では、原価改善に加え、円安効果が寄与し、営業利益は19億94百万円(前年同期比26.1%増)となりました。

### 売上高・営業利益



#### タイヤバルブ製品



バルブコア



チュープレスバルブ

#### TPMS製品



TPMS 送信機

#### 制御機器製品



リリーフバルブ



チャージバルブ



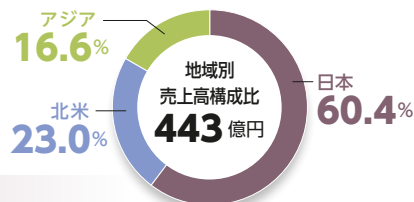
チェックバルブ

#### ダイカスト製品



シリンダー

## 地域別概況



### 日本

景気は回復傾向にあるものの、エコカー補助金が終了したことが影響し、主要顧客の自動車生産は前年同期を下回り、売上高は267億97百万円(前年同期比2.4%減)となりました。利益面では、原価改善や円安効果が寄与し、営業利益は24億27百万円(前年同期比20.2%増)となりました。

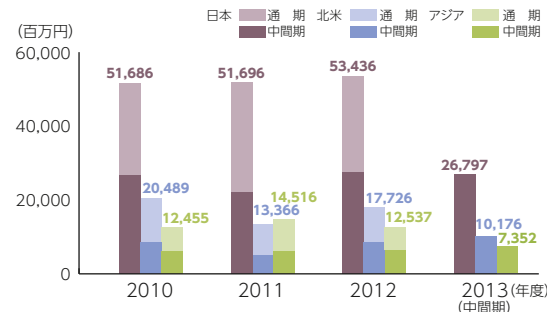
### 北米

主要顧客である日系自動車メーカーの販売は好調に推移し、また、円安効果も寄与し、売上高は101億76百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益は4億41百万円(前年同期比26.6%増)となりました。

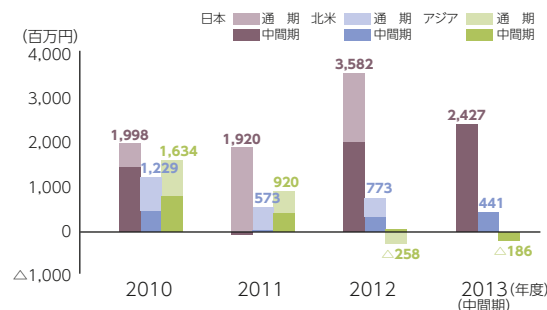
### アジア

韓国でのコンプレッサー関連製品の販売が大きく伸び、円安効果も寄与し、売上高は73億52百万円(前年同期比13.0%増)となりましたが、利益面では、中国での事業立上げに伴う費用負担などにより、営業損失は1億86百万円(前年同期は営業利益47百万円)となりました。

## 地域別売上高



## 地域別営業利益



※なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

## 2013年“超”モノづくり部品大賞「環境関連部品賞」を受賞

当社の「超軽量・発泡成形エンジンカバー」が、モノづくり推進会議と日刊工業新聞社が共催する2013年“超”モノづくり部品大賞の環境関連部品賞を受賞しました。

自動車に対して、環境配慮や燃費向上が求められる中、当社は更なる部品の軽量化を図るため、「発泡成形」という工法に着目、エンジンカバー開発に取り組んでまいりました。世界初の高耐熱ナイロン材での化学発

泡成形技術確立し、少ない樹脂量でも発泡層を形成することで板厚の確保が可能となりました。この製品は、従来品と同等の剛性を保ちながら30%軽量化を実現しており、この技術開発の環境への貢献が高く評価されました。





# 連結財務諸表（要旨）

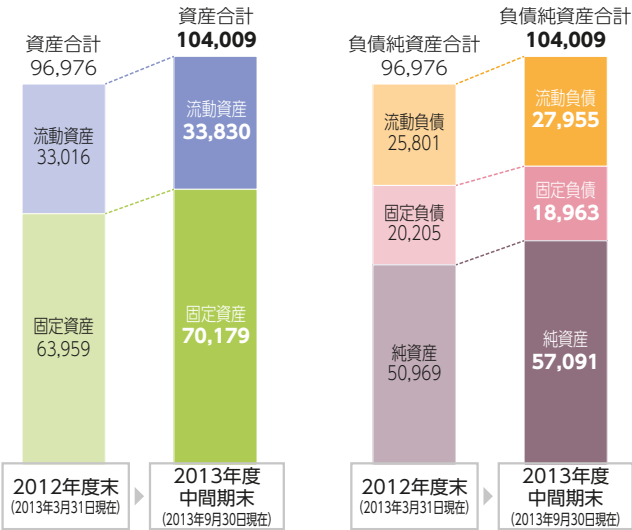
## 連結貸借対照表

(単位：百万円、未満切り捨て)

| 科 目         | 2012年度末 | 2013年度中間期末 |
|-------------|---------|------------|
| (資産の部)      |         |            |
| 流動資産        | 33,016  | 33,830     |
| 固定資産        | 63,959  | 70,179     |
| 有形固定資産      | 40,469  | 42,580     |
| 無形固定資産      | 272     | 295        |
| 投資その他の資産    | 23,217  | 27,303     |
| 資産合計        | 96,976  | 104,009    |
| (負債の部)      |         |            |
| 流動負債        | 25,801  | 27,955     |
| 固定負債        | 20,205  | 18,963     |
| 負債合計        | 46,007  | 46,918     |
| (純資産の部)     |         |            |
| 株主資本        | 42,518  | 44,477     |
| その他の包括利益累計額 | 5,620   | 9,681      |
| 新株予約権       | 102     | 145        |
| 少数株主持分      | 2,728   | 2,785      |
| 純資産合計       | 50,969  | 57,091     |
| 負債純資産合計     | 96,976  | 104,009    |

## 財務の状況

(単位：百万円、未満切り捨て)



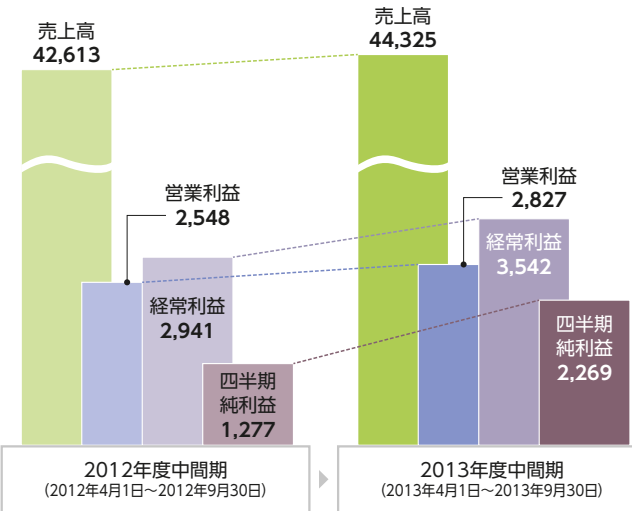
## 連結損益計算書

(単位：百万円、未満切り捨て)

| 科 目             | 2012年度中間期 | 2013年度中間期 |
|-----------------|-----------|-----------|
| 売上高             | 42,613    | 44,325    |
| 売上原価            | 36,632    | 37,865    |
| 販売費及び一般管理費      | 3,432     | 3,632     |
| 営業利益            | 2,548     | 2,827     |
| 営業外収益           | 670       | 915       |
| 営業外費用           | 277       | 201       |
| 経常利益            | 2,941     | 3,542     |
| 特別利益            | 9         | 4         |
| 特別損失            | 688       | 19        |
| 税金等調整前四半期純利益    | 2,263     | 3,527     |
| 法人税等            | 1,026     | 1,272     |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,236     | 2,254     |
| 少数株主損失(△)       | △40       | △15       |
| 四半期純利益          | 1,277     | 2,269     |

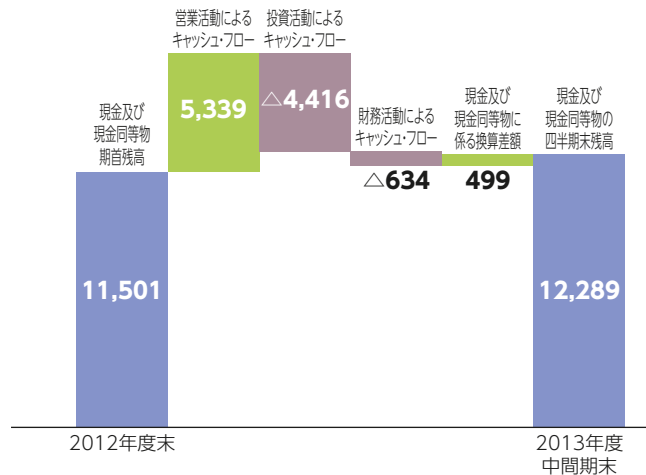
## 収益の状況

(単位：百万円、未満切り捨て)



## 連結キャッシュ・フロー

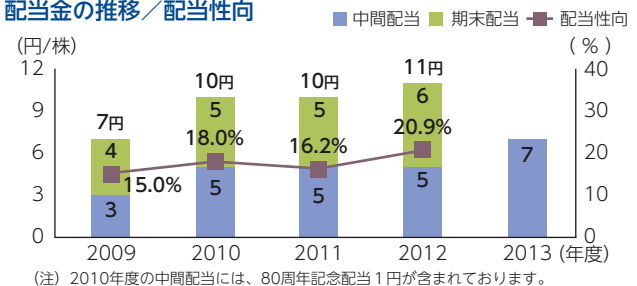
(単位: 百万円、未満切り捨て)



## 配当還元の方針

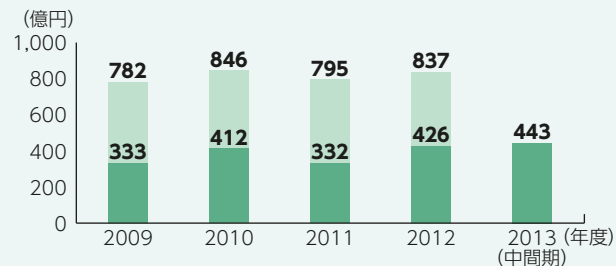
当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、安定的な配当の継続を基本に業績及び配当性向等を総合的に勘案し、剰余金の配当を行っています。2013年度中間期の配当金は7円とさせていただきます。

## 配当金の推移／配当性向

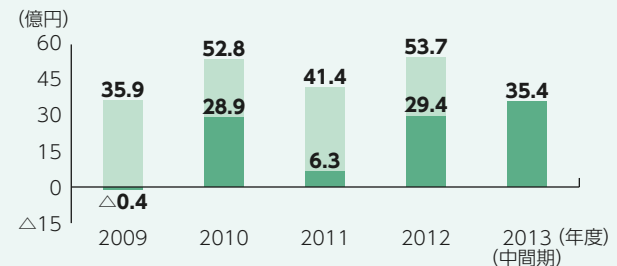


## 業績ハイライト

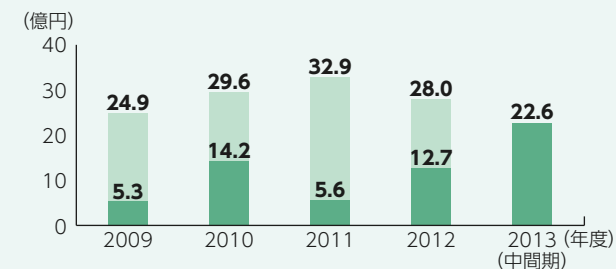
## 売上高



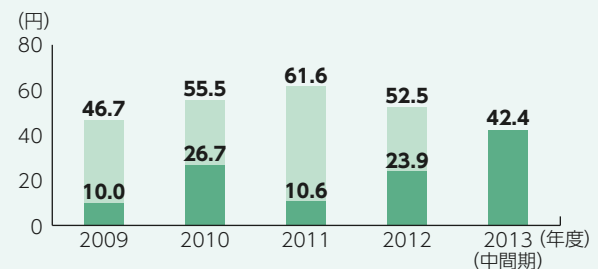
## 経常利益



## 四半期 (当期) 純利益



## 1株当たり四半期 (当期) 純利益





## CSRレポート2013発行

当社グループは、CSR（企業の社会的責任）を経営の最重要課題と位置づけ、社会の持続的発展に貢献できる「真のグローバル企業」をめざしてCSR経営の充実に取り組んでいます。2013年9月末に発行しました「CSRレポート2013」では、当社グループのCSRに対する考え方や日々の事業活動に根ざしたCSRの取り組みを、5つの特集を中心に、経済・社会・環境の側面から具体的にわかりやすく紹介しています。冊子で紹介しきれなかった

内容や、データ・詳細情報は、WEBサイトを有効活用し情報を開示しました。



CSRレポートを  
ご覧になりたい方は

WEBサイトから 太平洋工業 CSRレポート

検索

<http://www.pacific-ind.co.jp/csr/report/>



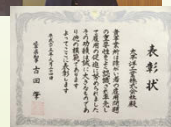
## 障がい者雇用優良事業所として「岐阜県知事表彰」

「平成25年度障がい者雇用優良事業所等表彰」において、当社が「岐阜県知事表彰」を受けました。この表彰は、障がい者を積極的に雇用した事業所に対して贈られるもので、当社が障がい者雇用の重要性を認識し、率先して雇用に取り組んできた実績が評価されたものです。2013年6月時点での当社の障がい者雇用率は2.07%で、法定

雇用率2.0%を達成しています。今後も、一人ひとりの能力を生かし、はつらつと働くことのできる組織づくりに取り組み、ダイバーシティを推進してまいります。



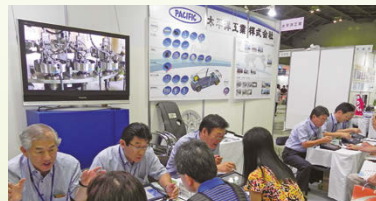
表彰式の様子



## 積極的なIR活動の推進

当社は積極的な情報開示と投資家の皆様との対話を重視した双方向コミュニケーションによるIR活動を推進しています。今年度は、個人投資家を対象とした活動として、名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2013」に出展するとともに、証券会社主催の個人投資家向け説明会等を開催。個人投資家の皆様に経営層から直接、会社概要・決算状況・中長期経営計画等の説明を行い、当社に対する理解を深めていただきました。

また、海外投資家を対象とした英語版IR冊子「インベスターズガイド」を2013年7月に発行しました。



名証IRエキスポ2013



インベスターズガイド2013



(2013年9月30日現在)

## 会社の概要

社 名 太平洋工業株式会社  
Pacific Industrial Co., Ltd.  
本社所在地 〒503－8603 岐阜県大垣市久徳町 100 番地  
TEL 0584－91－1111 (大代表)  
設 立 1930 年 8 月 8 日  
資 本 金 4,320 百万円  
従 業 員 数 1,630 名 (連結：3,130 名)  
事 業 内 容 自動車部品、電子機器製品等の製造  
ならびに販売

## 国内拠点 8工場

西大垣工場、東大垣工場、北大垣工場、養老工場、  
美濃工場、九州工場、栗原工場、若柳工場

## グループ会社

日 本 太平洋産業株式会社  
ピーアイシステム株式会社  
太平洋開発株式会社  
太養興産株式会社  
PEC ホールディングス株式会社  
台 湾 太平洋汽門工業股份有限公司  
韓 国 太平洋バルブ工業株式会社  
太平洋エアコントロール工業株式会社  
米 国 Pacific Industries USA Inc.  
Pacific Manufacturing Ohio, Inc.  
タ イ Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd.  
中 国 太平洋工業 (中国) 投資有限公司  
天津太平洋汽車部件有限公司  
長沙太平洋半谷汽車部件有限公司  
ベ ル ギ ー Pacific Industries Europe NV/SA

## 株式の状況

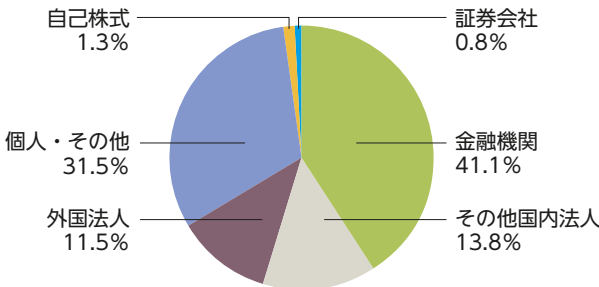
発行可能株式総数 90,000,000 株  
発行済株式の総数 54,646,347 株  
株主数 4,116 名

## 大株主（上位10名）

| 株 主 名                     | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------------|---------|---------|
| 株式会社三菱東京UFJ銀行             | 2,679   | 4.97    |
| 株式会社大垣共立銀行                | 2,671   | 4.95    |
| 株式会社十六銀行                  | 2,619   | 4.86    |
| 日本生命保険相互会社                | 2,408   | 4.47    |
| 第一生命保険株式会社                | 2,349   | 4.36    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,124   | 3.94    |
| PECホールディングス株式会社           | 1,987   | 3.69    |
| 岐建株式会社                    | 1,891   | 3.51    |
| 太平洋工業取引先持株会               | 1,812   | 3.36    |
| 日本興亜損害保険株式会社              | 1,737   | 3.22    |

(注) 持株比率は自己株式を控除しております。

## 所有者別株式数分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 9月30日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座管理機関  
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
Tel 0120-232-711（通話料無料）  
上場証券取引所 東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部  
単 元 株 式 数 100株  
証 券 コ ー ド 7250  
公 告 の 方 法 当社のホームページに掲載いたします。  
公告掲載 URL  
http://www.pacific-ind.co.jp/koukoku/  
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を  
することができない場合は、中部経済新聞および日本  
経済新聞に公告いたします。)

 太平洋工業株式会社

〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町 100 番地  
TEL 0584-91-1111（大代表） FAX 0584-92-1804  
www.pacific-ind.co.jp

当社ホームページのご案内



[www.pacific-ind.co.jp](http://www.pacific-ind.co.jp)

当社のホームページでは、企業情報、IR・投資家情報、  
CSR・環境情報などさまざまな情報を掲載しております。



発行日：2013年11月22日

この印刷物は適切に管理された森林からの原料を含むFSC®  
認証紙および植物油インクを使用しています。